

校長から宗高・宗中のみなさんへⅡ ⑤

令和2年7月3日（金）

「当たり前だと思っていたことは」

7月に入りました。今年は1月くらいから新型コロナウイルス感染拡大の影響が始まり3ヶ月近い臨時休校をはじめ、私たちが経験したことのない様々なことが起こり、当たり前だと思っていたことが当たり前ではなくなった、戸惑うことの多い日々でした。しかし、気が付いてみると今年もすでに折り返し、1年の半分が終わったことにちょっと驚いてしまいます。

学校再開後1ヶ月が過ぎ、ようやく学校生活もほぼ平常のリズムを取り戻しました。こんな年だからこそ！ 以前紹介したアインシュタイン博士の「困難な状況の中にもこれを乗り越えるチャンスがある。」という言葉に胸に、今年後半、例年以上に、焦らず、弛ま^{たゆ}ず、しっかりと地に足をつけて、この「チャンス」を必ずものにしていきましょう！ まさに今年後半は、宗高・宗中のみなさんの素晴らしい真価を発揮して「災い転じて福と為す」絶好のチャンス到来です。

今週の月曜日、6月29日は令和2年度生徒会長立候補者立会演説会でした。2年1組の小齊平弥々さん、2年2組の梶原 遥^{みち}さん、2年8組の林 宏輝君の3人が生徒会長に立候補してくれました。私の33年間の教員生活5校の経験で、生徒会長立候補者が3名も！出たのは初めてだったような気がします。会長として本校の生徒会活動をリードしていこうという気概と意欲を持った人が3名も出てくれたことにいい意味で驚き、心から嬉しく思いました。そして、3人ともが自分の考えをしっかりと、堂々と有権者であるみなさんに訴えた演説は、その内容、態度共に実に頼もしく、素晴らしいものでした。心から感心しました。

なかでも梶原さんの演説にあった「今回の長期間の臨時休業で、『当たり前』と思っていた高校生活は決して『当たり前』ではなく、共に仲間と過ごすかけがえのない貴重なもの、仲間との出会いは『奇跡的』なもの」であるという、彼女の「気づき」に私自身はっとさせられました。

授業や部活動、友達との語らいをはじめ、何の変化もない「ふつう」の毎日、水や空気、あるいは親の愛情のように、私たちは何の意識もなく、あるのが「当たり前=当然」だと思っていることがあります。しかし、ひとたびそれらのものが「当たり前」ではなくなった時に初めて、それが私たちにとって、どんなに大切で、かけがえのないものであったかに気づかされます。

普通に考えると、「当たり前だと思っていたことが当たり前ではなくなった」今回の新型コロナウイルス禍は、私たちにとって決して良いことではありませんでした。しかし、梶原さんの「気づき」のように、今回の新型コロナウイルス禍は、私たちがそのことを改めて気づく貴重な機会になったのではないかと思います。私たちみんながそのことに気づいたからこそ、彼女が訴えてくれたように、授業や部活動をはじめとする日々の生活という「今を大切に」していかなければならないですね。

この「気づき」があった私たちは、もうコロナ以前の私たちとは違います！「当たり前のこと」の持つ真の価値と大切さを再認識した「新たな」私たちに生まれ変わっているのです。

さあ、2020年、令和2年の後半、生まれ変わった「新たな」私たちの力強い歩みを一歩ずつ進めていきましょう。

校長 深瀬 信也

令和2年7月2日

保護者各位

福岡県立宗像高等学校・宗像中学校長

令和2年度 体育祭の不実施について

日頃から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、本校の年間行事予定では、本年度の体育祭を9月5日（土）に実施の予定としておりましたが、昨年度末以来の新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、体育祭開催の可能性について、日程や内容の変更、プログラムの工夫、練習や体育祭本番での「三密」の回避策の検討等により、慎重の上にも慎重に検討を重ねてまいりました。

その結果、学校再開後も新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組が継続して必要であること、進路保障・学力保障のための授業時間数の確保が最優先であること、更には体育祭リーダー等として中核となる高校3年生の意識、中学生の状況等を総合的に勘案した結果、本年度の体育祭につきましては、万やむを得ず実施を断念することといたしました。

もとより、鳳雛祭（文化祭）や体育祭は、本校にとりまして生徒諸君の主体的活動による人間的成長のための重要な教育活動であります。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る生徒の安全性の確保や3ヶ月近い臨時休業による本校の教育活動の現況等を踏まえ、断腸の思いでこのような決定をせざるを得なかったことに、何卒御理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、体育祭の不実施を受け、9月初旬に「三密」回避等をはじめ新型コロナウイルス感染防止を徹底した「学年別クラスマッチ」を実施する方向で検討しておりますことを申し添えます。

【体育祭不実施の主な理由】

- 1 体育祭の練習時、体育祭本番共にスタンドでの活動や各プログラムの実施にあたり、「三密」回避の感染防止対策がどうしても困難であること。
- 2 授業時間確保の点から、学校再開後も十分な練習時間をとることが困難であり、熱中症や体力低下に起因する事故・けが等の発生が例年以上に危惧されること。
- 3 タンブリングやダンス等については、練習、体育祭本番ともに「三密」回避が極めて困難であること、年間を通しての体育授業における指導や体力増強の十分な時間確保ができないこと。
- 4 アンケート調査の結果、体育祭実行委員やブロック役員等として学校全体を牽引する高校3年生の約6割が、体育祭実施について不安を感じていること。
- 5 中高一貫教育校の本校は、高校と中学校一体の教育活動の展開が必須であり、2ヶ月に及ぶ臨時休業は、発達段階が大きく異なる中学生の体力的な問題が危惧されること、また広範にわたる通学区域と公共交通機関の利用状況の問題等から中学生の体育祭参加が非常に困難な状況であること。